(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月22日

神戸市長 殿

提出者

住所 〒650-0027 神戸市中央区中町通2-1-18 JR神戸駅NKビル8F 氏名 大鉄工業株式会社 神戸支店 執行役員支店長 楠本典之 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 078-362-8777

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

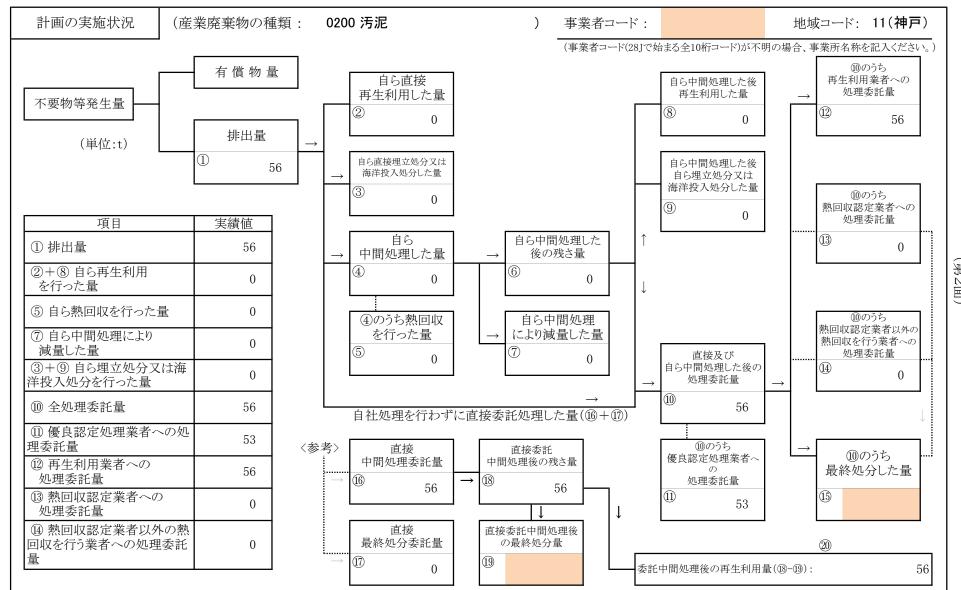
事	業場		名	称	大鉄工業 神戸支店
事	業場	の <u>;</u>	所 在	地	〒650-0027 神戸市中央区中町通2-1-18 JR神戸駅NKビル8F
事	業	の	種	類	一般土木建築工事業(0611)
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間					令和6年4月1日~令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

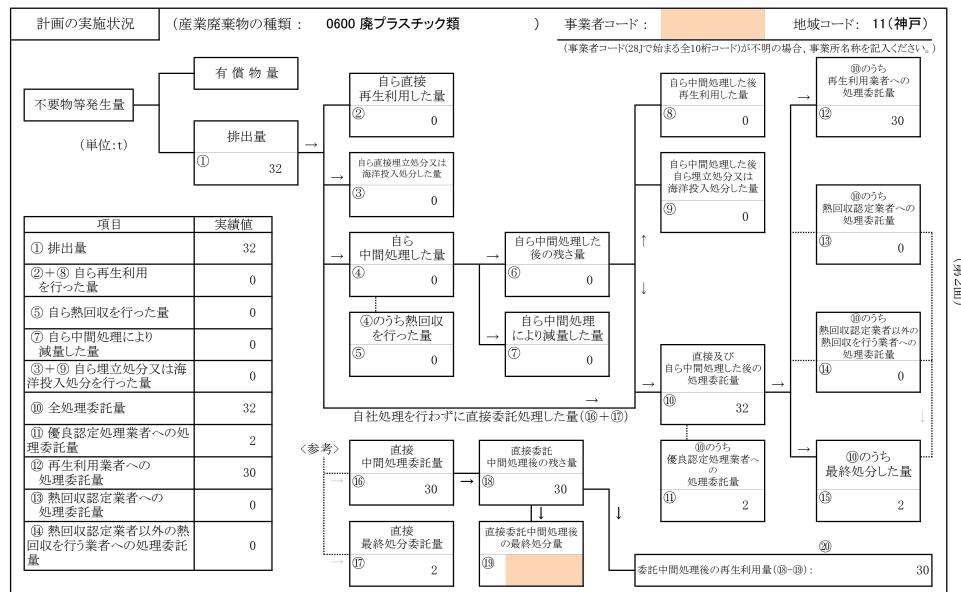
		目標値		項目	目標値	
排	出	量	2, 376. 71	t	全 処 理 委 託 量	2, 376. 71 t
自ら再分産業廃			0.00	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	551.54 t
自ら熱産業廃		行 う) 量	0.00	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2, 273. 35 t
	処理により 業 廃 棄 物		0.00	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	13.50 t
自ら埋 海洋投 産業 廃	立 処 分 ラ 乗 処 分 を 乗 物 の	行う	0.00	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t
※事務処理欄						

(日本産業規格 A列4番)

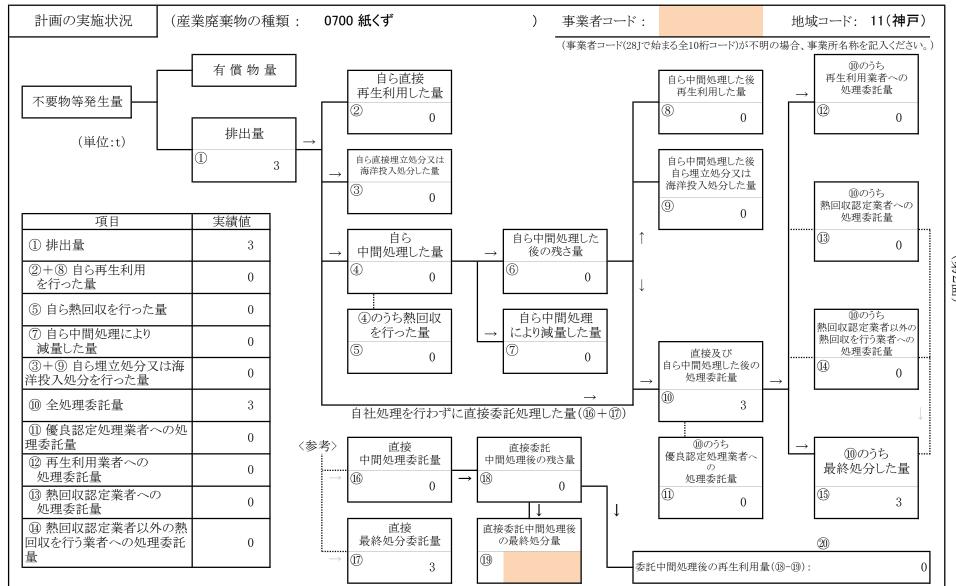




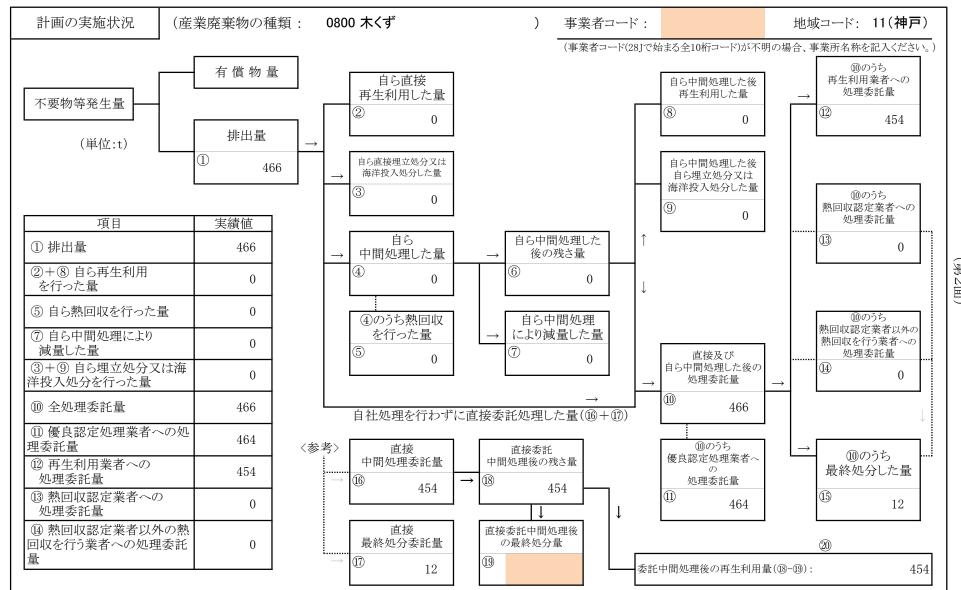




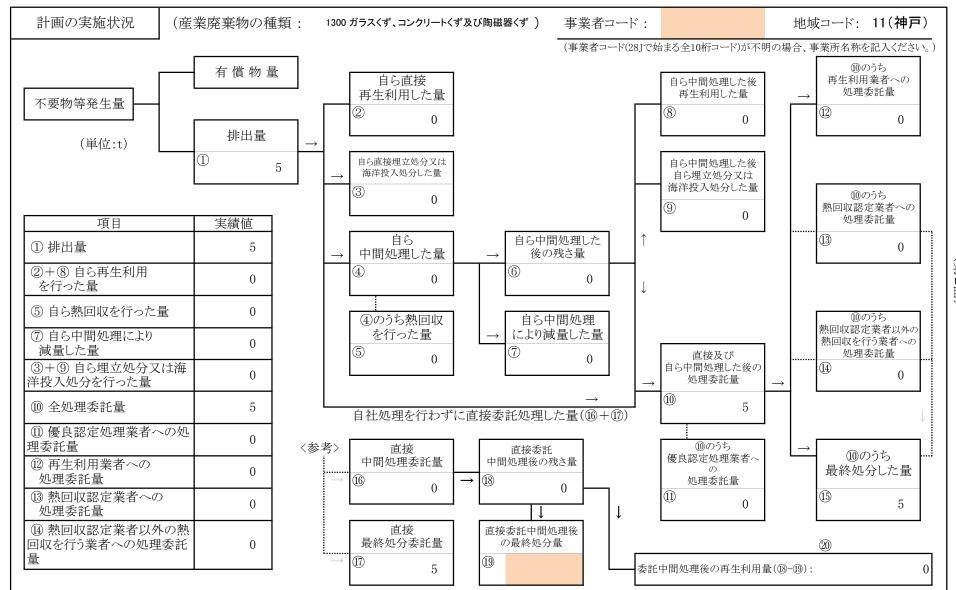




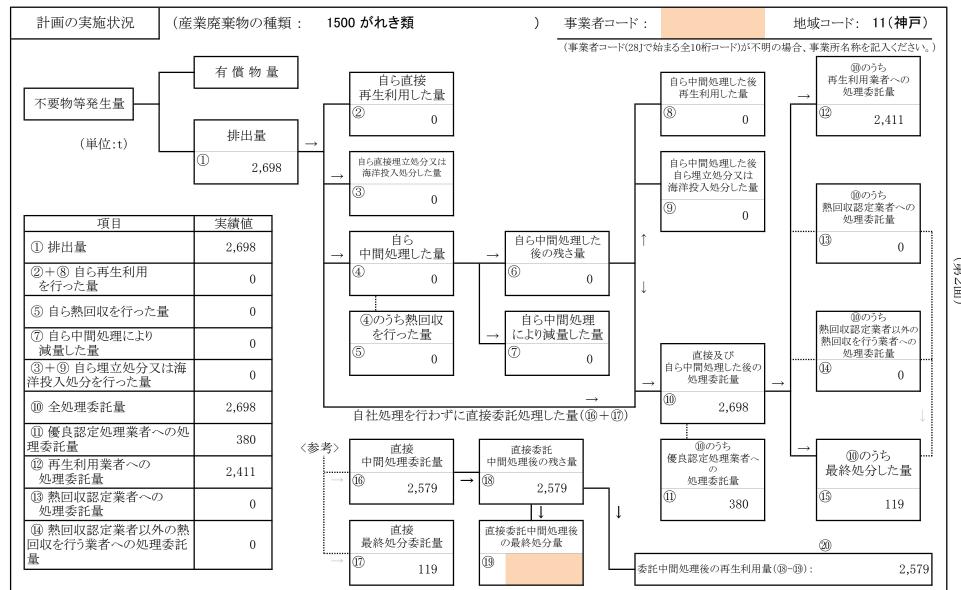




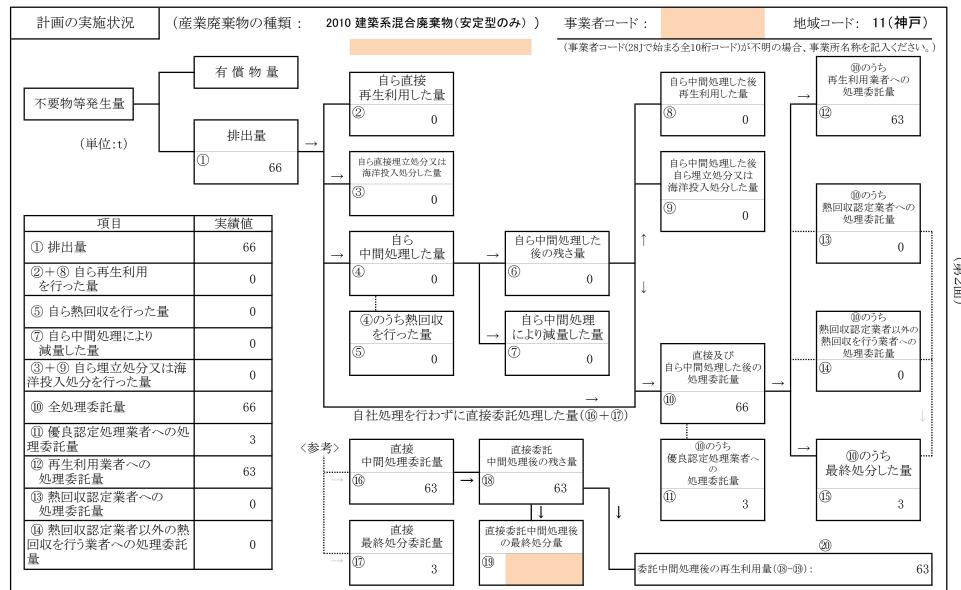




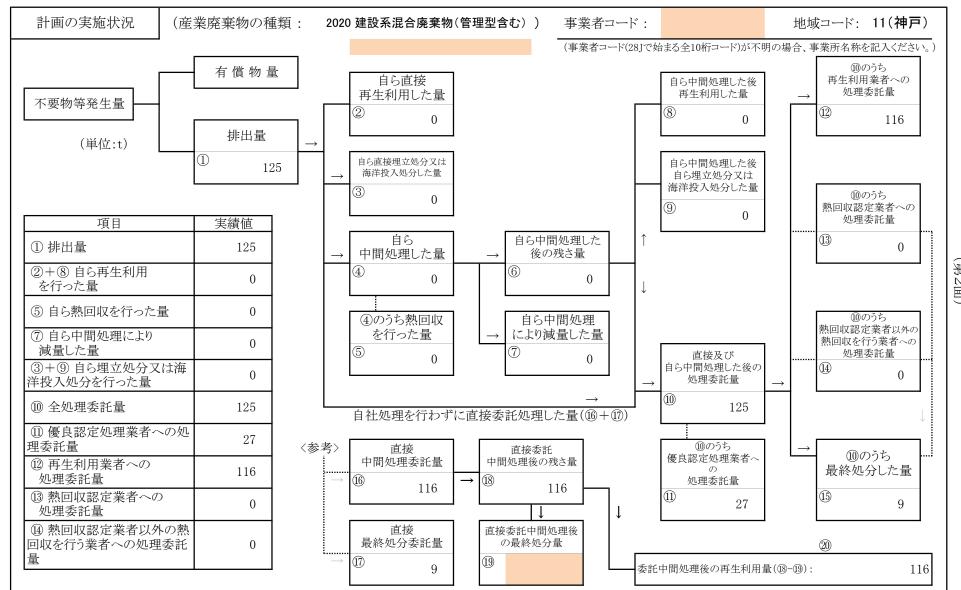




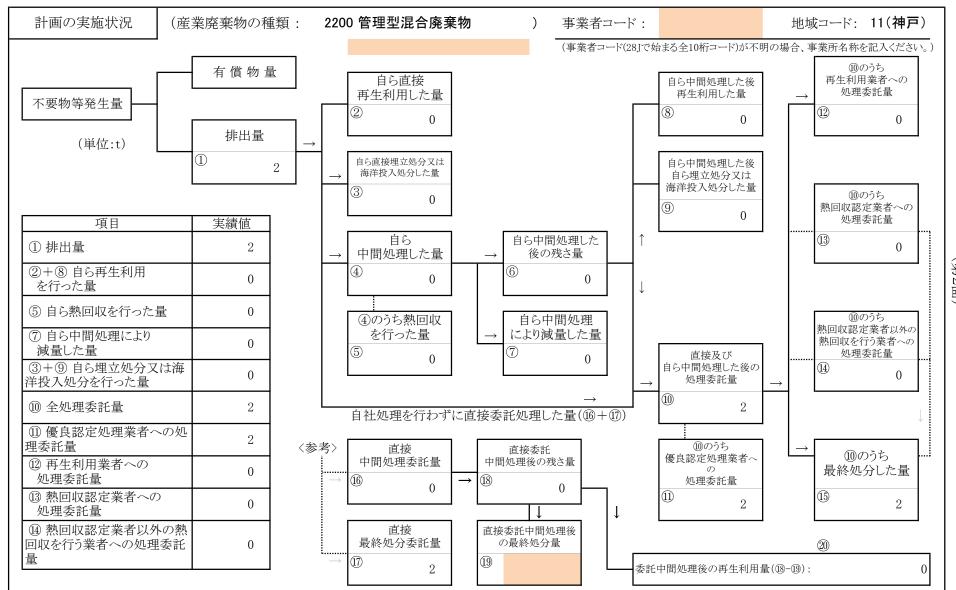




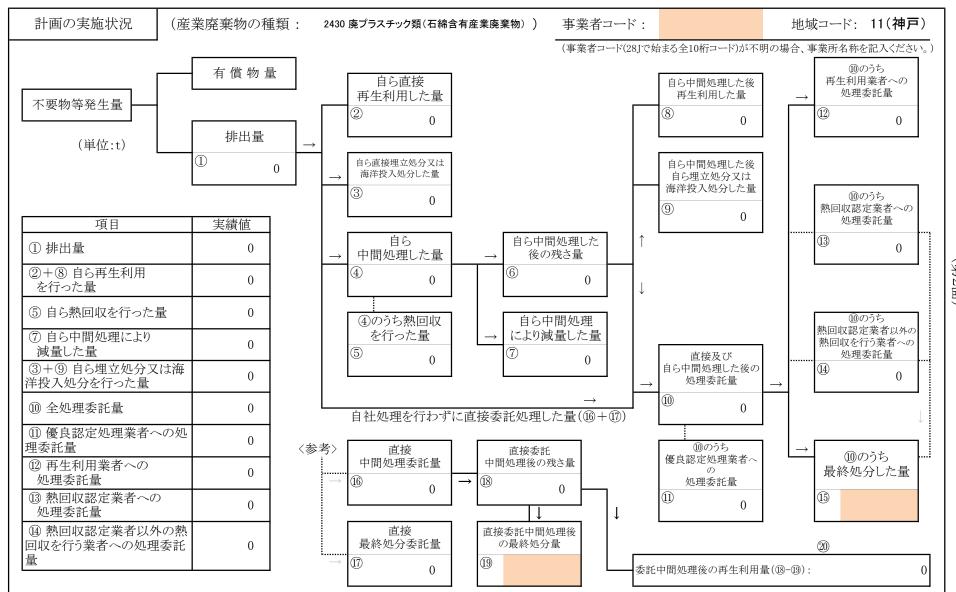




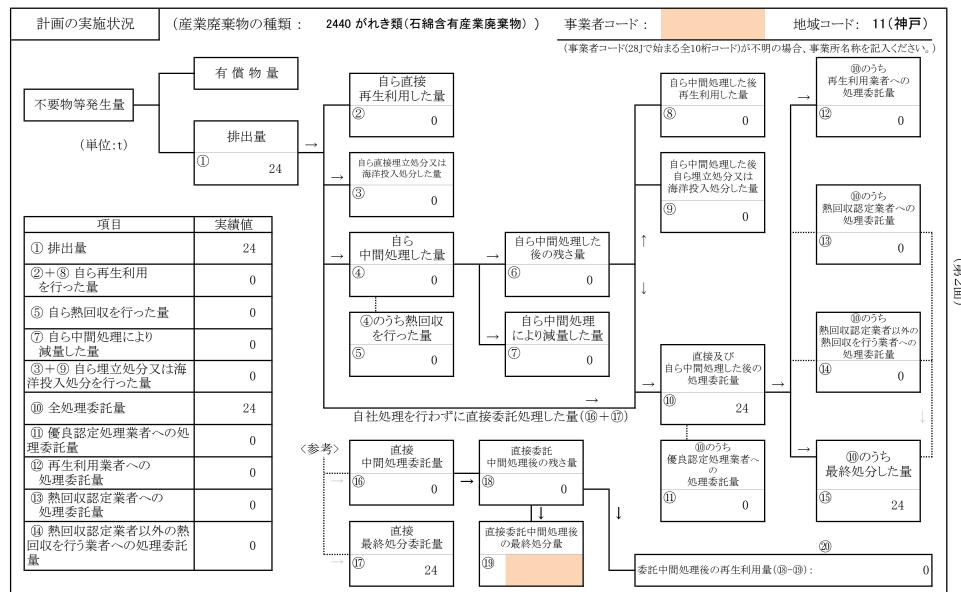












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) (7)欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業 廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。